

《東青地域県民局管内における避難者 交流支援の取り組み状況について》

平成24年2月6日（月）
東青地域県民局

1 交流の場の設定

青森市と福島県南相馬市からの避難者の人が、避難してきた方々の交流の場として、**「県外避難者つながろう会」**を設けている。

この会が、避難者の生活の不安や悩みを話し合う場となっており、最初は青森市への避難者だけを対象としていたが、3回目からは東青地域の避難者全員（東青地域の県外避難者は2月6日現在で248名）にも開催案内をしている。

東青地域県民局は、青森市とともに「県外避難者つながろう会」の運営を支援しており、また、各町村にも案内通知の発送等で協力してもらっている。

2 「県外避難者つながろう会」の開催状況・予定

	開催日	出席人数
第1回	平成23年11月11日（金）	23名
第2回	平成23年12月18日（日）	20名
第3回	平成24年1月20日（金）	8名
第4回	平成24年1月29日（日）	19名

○2月19日（日）に、第5回目を開催し、弘前大学の放射能専門家による「放射性物質に関する勉強会」を予定している。

3 「県外避難者つながろう会」での県外避難者の声

参加した県外避難者からは、「不安や悩みを共有できるこのような場はとてもありがたい」との声があると同時に、次のような質問や要望があった。

（主な質問・要望）

◆県立図書館を利用したい

→回答；住民票を移していなくても、公共料金の領収書で利用者カードを作成できる。

◆「困りごと無料相談会」は開催されているのか

→回答；青森市が「市民なんでも相談室」を開催している。

◆放射能が人体へ及ぼす影響について知りたい（地元に戻るには、どれくらいの数値なら安全なのか）

→2月19日（日）に、弘前大学の放射能専門家による「放射性物質に関する勉強会」を開催することとなった。

◆福島県の市町村によって、避難者、特に自主避難者に対して情報の多寡がある。

→回答；このような声があったことを県の復興局に伝える。

平成24年2月6日
中南地域県民局

県外避難者交流会の開催について

1 趣 旨

県外避難者の避難長期化に伴い、孤立化への防止対策が必要な状況にあることから、避難者同士のネットワーク形成及び受入地域家族との交流の場の設置等の支援を、県民局の主催により、受入市町の協力を得て、実施する。

2 概 要

(1) 開催日時

平成24年2月18日（土）
11:00～13:00

(2) 開催場所

サンライフ弘前（弘前市豊田1-8-1）

(3) 交流内容

りんご娘3人を迎え、東北女子短期大学の協力を得ながら、避難者及び地元家族が、調理実習室での調理、和室での試食・懇談等を行う。

①事務局から、りんご娘、大学スタッフの紹介を兼ねたあいさつ、日程説明

②調理（調理実習室）

…大学スタッフの指導により、参加者が共同で行う。

※ 米粉の使用等食材に配慮する。

③試食・懇談（和室）

…試食 調理体験、料理についての話題をもとに懇談

ホットアップルジュース、りんご菓子の提供

<別途、子どもたちの遊び場として体育館を準備>

県外避難者 おしゃべり交流会

～B級ご当地グルメ「八戸せんべい汁」を一緒に作りながらおしゃべりしませんか～

東日本大震災の影響により、八戸市及び三戸郡に避難されている方々を集っていただき、日頃の悩みやこれからのことなどについて、お互いに語り合いたいと思います。

お気軽にご参加ください。

◆日 時：平成24年2月12日（日）

11:00～14:00

◆場 所：八戸市総合福祉会館 6階「談話室」

八戸市根城八丁目8-155 TEL 0178-47-1651

◆参加費：無料

◆持ち物：おにぎりなど（八戸せんべい汁を調理して昼食をとります。）

◆申込方法：下記連絡先へ電話でお申し込みください。

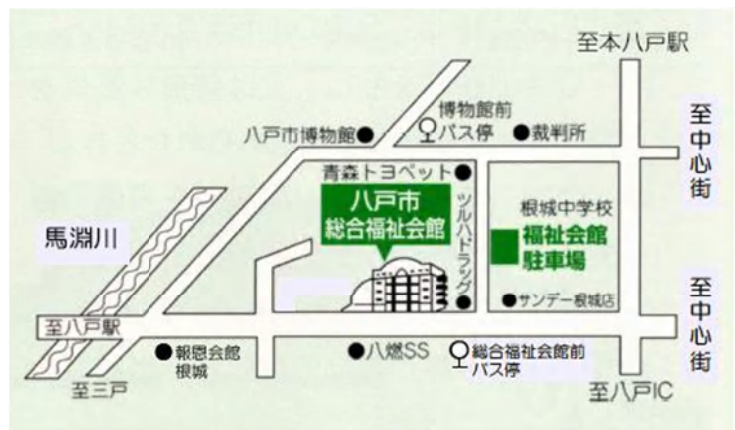
◆申込締切：平成24年2月3日（金）

◆連絡先：三八地域県民局地域連携部地域支援室（TEL0178-27-3936）



プログラム

- 八戸せんべい汁の調理
（参加人数により調理参加者は、調整します。）
- せんべい焼き体験
- 昼食
- おしゃべり



◆交通案内（バスを利用する場合）

○JR八戸駅から

【市営・南部バス 乗車時間 約15分】

・根城大橋経由中心街方面

「総合福祉会館前」バス停下車

・田面木経由中心街方面

「根城（博物館前）」バス停下車 徒歩7分

○中心街ターミナル5番（六日町）バス停から

【市営・南部バス 乗車時間 約10分】

・根城大橋経由八戸駅行き

「総合福祉会館前」バス停下車

・司法センター経由八戸駅行き

「根城（博物館前）」バス停下車 徒歩7分

主催：チーム北リアス

共催：青森県三八地域県民局、八戸市

※チーム北リアスは、東日本大震災で甚大な被害を受けた岩手県の北リアス地域の復興を長期的にお手伝いしようと、八戸、弘前、関西の有志が立ち上げたネットワークです。

つながろう奥津軽！復興支援交流会

～ 西北五地域在住県外避難者交流の集い ～

【日 時】2012年 3月 4日（日）11:00～15:00

【会 場】^{たちねぶた}立佞武多の館（5階会議室）
（住所）五所川原市大町21-1
（電話）0173（38）3232

【対 象】東日本大震災を機に、五所川原市、つがる市、鱒ヶ沢町、深浦町、鶴田町、中泊町に避難されてきた方。

【参加費】無 料

思い出深いふるさとを離れ、慣れない土地での生活を送られている皆様には、不安とともに生活環境の違いによる戸惑いも少なからずあると思います。

皆様にとって、この交流会がふるさととの繋がりを持てる憩いの場となれば幸いです。

お一人でもご家族でも、お気軽にご参加ください。

◆ 内 容 ◆

- 行政からのお知らせ
- 立佞武多の見学
- 郷土料理の昼食
- 金魚ねぶた色付け体験
- 座談・交流

五所川原産のつくね芋や、きのこなどの旨みが凝縮された「ごしょ山宝汁」のおもてなしもあります。



※ 堅苦しい場ではありませんので、小さなお子様連れの方も歓迎です。

■ お申し込み方法

別添の申込み用紙に必要事項を記入し、同封の封筒で2月19日（日）までに発送願います。

※ ファックスで送信して下さっても結構です。

■ お問い合わせ

青森県 西北地域県民局 地域支援室
TEL：0173-34-2175

■ 会場ご案内

JR 五所川原駅より徒歩5分。



◆ 主 催 青森県西北地域県民局

◆ 協 力 五所川原商工会議所、五所川原市、つがる市、鱒ヶ沢町、深浦町、鶴田町、中泊町

東北の元気、
日本の元気を
青森から

～青森県上北地域内に避難されている皆様へ～【県外避難者交流支援】

「馬と温泉 ふれあいツアー」にご招待！

開催日時：平成24年2月25日（土）10:00～15:00

<参加費> 無 料【定員60名・締切2月17日（金）】

青森県上北地域は、古くから馬産地としての歴史があり、現在の生活にも馬の文化が深く根付いています。また、有数の温泉地であり、個性豊かな温泉が数多くあります。

そこで、県外から避難されている皆さんに、馬の文化と温泉に触れていただくツアーを企画させていただきました。

避難されている皆さん同士の交流会なども行いますので、奮ってご参加ください！

【10:00～12:15】馬とのふれあい等（十和田市馬事公苑 駒っコランド）

馬とのふれあい、乗馬・馬そり体験、全国的にも珍しい馬の文化資料館「称徳館」、そして、広大な敷地でおもいきり雪遊びもOK！

また、特別料金にて「雪国馬そりツアー」（幌付きこたつ馬そり使用・30分ロングコース・こびり（にしん漬け&なべっこだんご）付き）の体験も可能です！（裏面の参加申込書にご記入ください。）

※ 称徳館観覧料は参加者全員無料です！（通常料金：一般300円/高校・大学生100円/中学生以下無料）

※ さらに、下記のサービスのうち1つだけお選びいただけます！

<乗馬体験> 通常料金：中学生以上500円/小学生以下300円 → **無料**

<馬そり体験> 通常料金：中学生以上500円/3歳～小学生300円 → **無料**

<雪国馬そりツアー【事前申込】> 通常料金：中学生以上1,000円/3歳～小学生600円

（申込多数の場合は抽選） → **特別料金：中学生以上500円/3歳～小学生300円**

【12:30～14:00】ご昼食・温泉入浴（十和田ポニー温泉）

外で思いっきり遊んで冷えた体は、掛け流しの天然温泉でゆっくり暖めてください！

※ 入浴料金は無料です！（着替え・タオル・アメニティ等はご自身でご用意願います）。

※ 昼食は持込可能ですが、ご希望の方には有料でご用意いたします（大人用1,000円・子供用500円）。

【14:00～15:00】交流サロン（同上）

避難等に関する情報提供や相談会、避難されている皆さん同士の情報交換などを行いますので、これを機会に、避難されている皆さん同士の交流を深めましょう！

★会場までの無料バス送迎をご利用ください！

<コース1>

行き	乗降場所	帰り
7:30	六ヶ所村役場	17:25
8:30	野辺地町役場	16:25
9:00	七戸町役場（本庁舎）	15:55
9:20	七戸町役場（七戸庁舎）	15:35
9:45	十和田市役所	15:10
10:00	会場	15:00

<コース2>

行き	乗降場所	帰り
8:30	おいらせ町役場（分庁舎）	16:30
8:40	おいらせ町役場（本庁舎）	16:20
9:00	三沢市役所	16:00
10:00	会場	15:00

※ 自家用車等でのご来場も可能です。

※ 上記時間は目安であり、当日の道路状況等により出発・到着時間は前後する場合があります。

※ その他、乗降場所のご希望等があればご相談ください（裏面の参加申込書にご記入ください）。

避難者交流会の開催状況について

東日本大震災により下北地域において避難生活をしている岩手県、宮城県、福島県の40家族・89名の方々を対象に避難者交流会を企画し実施した。

- 1 日 時：平成24年1月28日（土）11時～13時
場 所：むつプラザホテル2階 鼓の間
参加者数：4家族8名（申込者数：5家族10名）

2 実施概要

当日は、むつ商工会議所が主催する第11回冬の下北半島「食の祭典」が同じホテルを会場に開催され、下北半島の食文化に触れることができる機会にもなることから同会場で実施したものである。

急遽「食の祭典」に出席していた宮下むつ市長から激励の言葉があり交流会はスタートした。

- (1) NPO法人むつ下北子育て支援ネットワークひろば（代表理事 小川千恵ほか3人）による絵本の読み聞かせ、紙芝居などの実施
- (2) 情報提供・相談会の開催
福島県民健康管理調査、空間放射線モニタリングの状況、各県が提供している生活再建の手引き等の提供
- (3) 食事をしながらの意見交換会（おしゃべり会）



○ 意見交換の中で出た質問や要望

- ・下北地域でどれくらいの方が避難生活しているのか。
→40家族89名
- ・冬季間は足（交通）の確保が大変だ。雪に慣れていないので車の運転や歩くのも大変だ。
→車の運転とかは自動車学校で講習を受ける方法もある。交流会への参加の足の確保は、今後の検討課題。
- ・東京電力への損害賠償請求の書き方が難しくてわからない。東京電力の人に来てもらったが理解ができず帰ってもらった。福島県庁では書き方を教えてくれるが、青森県でもできないか。あるいは八戸市にできる復興庁の出先に期待している。
→ご意見は伝える。

(4) その他

「食の祭典」では、菅家一郎氏（前会津若松市長）による講演会（今後の効果的復興を考える～震災と原発 そのときどう行動し、食の安全を確保すべきか～）が開催されたほか、財団法人日本原子力文化振興財団が放射線情報コーナーを設置し、放射線にかかる相談を受付していたことから、避難者へ情報提供をした。

- 食事は、脇野沢地区観光協会のご厚意でボタン鍋がふるまわれたほか、大湊海軍コロケとおにぎりの昼食を提供した。